

作成に際し、以下の注意事項をご確認いただきますようお願いいたします。

No.	報告について	補足事項	備考
1	<p>前月実績及び翌月計画を、毎月10日までに各工区統括施工者へ提出してください。</p> <p>・提出フロー</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 各工事業者 ・1日～月末までの自社データの確認・収集・整理 </div> <p style="text-align: center; color: red;">↓ 10日までに提出</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 各工区統括施工者（4工区） データの確認 ・全業者から提出があるか ・計画や実績の記入もれがないか </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%; text-align: center;"> 博覧会協会 提出データ等の確認・統合 </div> </div> <p style="text-align: center; color: black;">↓ 15日までに提出</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 会場全体統括施工者 データの確認 ・全業者から提出があるか </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> ↓ 20日までに提出 </div> </div>	<p>・各工区統括施工者からは、毎月15日までに全体統括施工者へ提出し、全体統括施工者からは毎月20日までに協会へ提出です。</p> <p>・全体統括施工者から協会へは、以下のとおりメールにて提出をお願いします。</p> <p>To：協会</p> <p>cc：協会委託業者（一般財団法人日本気象協会）</p>	<p>・報告開始時期は、着工の翌月からとなりますが、一番最初の報告時のみ、計画は翌月及び翌々月の分をご提出ください。</p> <p>例：5月着工⇒6/10までに5月実績＋6月計画及び7月計画を提出 ⇒次回提出時は、7/10までに6月実績＋8月計画を提出</p>
2	報告内容に疑義等が生じた場合、協会又は協会委託業者から問い合わせることがあります。		
3	報告に係る質問及び回答は、原則メールにて行います。	<p>送付先は、以下のとおりお願いします。</p> <p>To：協会</p> <p>cc：協会委託業者（一般財団法人日本気象協会）</p>	質問及び回答の内容については、まとめた上で適宜共有します。

No.	全シート共通事項	補足事項	備考																					
1	報告は、受け取り次第集計作業に移るため、原則、提出内容で都度確定とします。	記入漏れ等、報告済みの内容を遡って修正する必要が生じた場合は、対象のセルを赤色にし、提出時にその旨ご連絡をお願いします。																						
2	グレーセルは入力不要です。																							
－	「1.車両台数(建設工事)」及び「5.車両台数(解体撤去工事)」シート	補足事項	備考																					
3	車両種別に、通過ルート（北、中央、南）ごとの台数を記入してください。	評価書P139に記載のない車両種や、北ルートで高速道路を使用できない場合等は、判明次第速やかに、その旨を各工区統括施工者経由で協会までご連絡ください。	北ルートは、原則、阪神高速道路を利用してください。																					
4	車両種別は、車両重量も項目名に記入してください。		記入例：生コン車(10t)																					
－	「2-1.建設機械関連（建設工事）」及び「6-1.建設機械関連（解体撤去工事）」シート	補足事項	備考																					
5	工事種別は、補足事項を参考に記入してください。	工事種別例： 準備工事、地盤改良工事、土工事・地業工事、躯体工事、仕上げ工事 など	台数等は重複して記入しないようにお願いします。																					
6	工事種別に、使用した建設機械ごとの月当たりの稼働台数及び稼働時間を記入してください。	評価書P137～138に記載のない建設機械を使用する場合等は、判明次第速やかに、その旨を各工区統括施工者経由で協会までご連絡ください。	記入例： クレーン1台を15日稼働 ⇒ 月当たりの稼働台数 15台																					
7	国交省の指定対策型は、対応規制が異なる場合は、別行として記入してください。		記入例： ラフタークレーン(25t) 騒音：超 排ガス：3次 5台 ラフタークレーン(25t) 騒音：超 排ガス：2次 3台																					
8	稼働台数及び稼働時間は、可能な限り実働を記入してください。	どうしても概数しかわからない場合は、以下のとおり算出し、対象のセルを黄色にしてください。 ・稼働台数＝現場の日当たりの滞在台数×20日 ・稼働時間＝稼働台数×8h																						
－	「3.廃棄物関連（建設工事）」及び「7.廃棄物関連（解体撤去工事）」シート	補足事項	備考																					
9	廃棄物の項目ごとに、発生量及びリサイクル量を記入してください。	処分量は自動で入力されるため、記入不要です。																						
10	リサイクル量は、可能な限り処分業者との契約書等も確認の上、適正な数値を記入してください（特に、木くず、紙くず、廃プラスチック類、建設混合廃棄物）。	・リサイクル率は自動で入力されますが、木くずや紙くず等は、処分業者によりサーマルリサイクルを実施している場合がありますので、処分業者に聞き取りの上、自動入力されたリサイクル率と相違があれば修正してください。 ・ガイドラインに記載している以下リサイクル率にも留意してください。 <div>C-054 参加者と請負業者は、建設リサイクル推進計画2020（令和2年9月 国土交通省）に示される以下の建設混合廃棄物に係る目標値を達成すること。<table><tr><td>品目</td><td>指標</td><td>2024 達成基準</td></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート塊</td><td>再資源化率</td><td>99%以上</td></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td>再資源化率</td><td>99%以上</td></tr><tr><td>建設発生木材</td><td>再資源化・縮減率</td><td>97%以上</td></tr><tr><td>建設汚泥</td><td>再資源化・縮減率</td><td>95%以上</td></tr><tr><td>建設混合廃棄物</td><td>排出率</td><td>3.0%以下</td></tr><tr><td>建設廃棄物全体</td><td>再資源化・縮減率</td><td>98%以上</td></tr></table></div>	品目	指標	2024 達成基準	アスファルト・コンクリート塊	再資源化率	99%以上	コンクリート塊	再資源化率	99%以上	建設発生木材	再資源化・縮減率	97%以上	建設汚泥	再資源化・縮減率	95%以上	建設混合廃棄物	排出率	3.0%以下	建設廃棄物全体	再資源化・縮減率	98%以上	
品目	指標	2024 達成基準																						
アスファルト・コンクリート塊	再資源化率	99%以上																						
コンクリート塊	再資源化率	99%以上																						
建設発生木材	再資源化・縮減率	97%以上																						
建設汚泥	再資源化・縮減率	95%以上																						
建設混合廃棄物	排出率	3.0%以下																						
建設廃棄物全体	再資源化・縮減率	98%以上																						